

協会の活動

発行:一般社団法人栃木県老人保健施設協会広報委員会

令和4年度 第1回職員研修会

- 日時：令和4年10月21日(金)
10時20分～14時50分
- 会場：Web会議システム「Zoom」

研修委員会による「令和4年度第1回職員研修会」【事例発表会】が10月21日(金)にWeb会議システム「Zoom」にてオンライン開催され、28施設の職員が参加しました。福祉系学科で学ぶ栃木県内の高校2校の生徒、先生方にも参加いただきました。

齋藤国和研修委員長による開会の挨拶で始まり、続いて栃木県老人保健施設協会 矢尾板誠一会長の挨拶がありました。矢尾板会長からは、「老人保健施設は地域包括ケアの中核的役割を果たし中規模多機能包括支援施設として利用者の社会生活を支え、伴走し支援していくことが役割です。各老健施設がこの期待に応えられるよう、役割を果たせるよう各施設の経験と知識、知恵を共有していきましょう」と述べられました。

今回は7施設から9事例の発表があり、午前と午後に分けて発表を行いました。



発表事例 施設

- ①「コロナ禍における入所者・家族とのコミュニケーションの取り方」／うつのみや病院付属介護老人保健施設
- ②「個人の尊厳とは」～日常生活にこそ、その人らしさを大切に・・・／陽南
- ③「笑顔あふれる生活を目指して」～個レクとコミュニケーションの充実／宇都宮シルバーホーム
- ④「介護老人保健施設におけるICT活用について」～無料アプリを使ってスタッフのコミュニケーションアップ／陽南
- ⑤「排せつ支援計画スクリーニングを使用した支援方法の確立」～絵に描いた餅にならないように／いづみ
- ⑥「私のハッピープラン(HLP)／今市Lケアセンター
- ⑦「俺達の浪漫を求めて」～男性利用者の日常生活の活性化を目指して／春祺荘
- ⑧「腰痛との向き合い方」／春祺荘
- ⑨「老健による老健で看取らないターミナルケア」／やすらぎの里八州苑

コロナ禍が日常となっている今、介護手法、利用者、家族とのコミュニケーション等における、個別対応にスポットをあてたテーマが多かったです。現在福祉を学んでいる高校生からの質問、意見、感想等を交わすことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

このような発表会を通じて各施設における様々な取り組みを共有することで、ともすれば漫然と忙しく過ぎてしまう日常を見つめ直す機会とするとともに、明日からの介護に新たな息吹をもたらしてくれたらと思います。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。